

令和4年度の各団体の取組一覧

資料3

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
1	上越商工会議所	A-2-1	身の丈にあった使いやすいAI・IoT等の活用支援	-	ORAJA様に協力頂き、小さくはじめるDXセミナーを開催した。 R4.9/21 社内業務のデジタル化に取り組もう 28名参加(リアル+オンライン) R4.11/29 広報担当が考えるこれからの情報発信 20名参加(リアル+オンライン) R5.3/3 さまざまなDXサービス・事例を学ぶ ITベンダー5社からサービス紹介頂いた 参加者19名(リアル+オンライン)
2	上越市商工会連絡協議会	A-1-1 A-1-3	経営発達支援事業	地域資源を活用した特産品開発・観光振興では、地域住民からも積極的に参画していただき、自分たちの地域資源であるとの認識を深めてもらい商品等のファンとなってもらう。開発段階から販売面に踏み込み継続的的事业経営スタイルを確立する。近隣と連携することで、具体的販売実績に結びつけていく。 イベント等により地域コミュニティの再構築と近隣との連携による販売促進支援により商工会員の事業機会を創出していく。	・経営計画策定支援 ・事業計画策定支援と実施支援 ・新たな需要開拓に関する支援
3	えちご上越農業協同組合	B-2-4	子どもへの食農教育	・小学生親子を対象とした親子教室や学校のPTC活動との連携による出前講座の開催。食農に関する理解を深めてもらうための内容を企画し、こどもの健全な成長に寄与する。	小学生親子を対象に食農対象教室「ちゃぐりん」道場を年3回実施し、地域農業への理解促進を図った。
4	えちご上越農業協同組合	A-1-4	農業の労働力確保のためのマッチングアプリの活用	-	・農業の人手不足対策としてスマートフォン向けマッチングアプリを活用した労働力支援に取り組んだ。アプリケーション運営会社と連携し、アプリ活用の説明会等を開催し、チラシの配布やSNS広告等で周知を図った。 農業者の短期的な人手不足解消を図るとともに、農業者以外に農業に関わる機会を提供することにより、長期的な視点での農業従事者の増加を期待した。 令和4年度実績(募集人員99人、成立人数90人、マッチング率90%)
5	上越公共職業安定所	A-2-2 B-1-1	子育て女性に対する再就職支援の推進	○再就職支援の推進 ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進を図る。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供の実施。 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施。 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催。 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施。	関係機関による「子育て女性等の就職支援上越地域協議会」を7月に書面開催で実施し、マザーズコーナー等の周知を行った。 また、例年開催しているマザーズ再就職支援セミナーは新型コロナウイルス感染拡大のため中止。
6	上越公共職業安定所	A-2-1 D-1-1	U・Iターン希望者に対する就職支援	1. U・Iターン希望者へ、にいがたUターン情報センターと連携した就職支援を実施 2. U・Iターン希望者に対して、ハローワークの全国ネットワークシステムを活用した就職支援の実施。	県との一体的施設「にいがた暮らし・しごと支援センター」と連携し、ハローワークシステムを活用した求人情報や上越地域への就職に関する各種情報を提供するほか、職業相談・職業紹介による就職支援を行った。 また、ハローワーク庁舎内にある「Uターン情報コーナー」において、同センターの周知を行うとともに、上越市ふるさと暮らし支援センターとの連携によるU・Iターン就職の促進、定住促進を図るための情報提供を行った。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
7	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 中 日本農業研究セン ター 上越研究拠点	A-1-4 A-2-1	新品種・新技術によ る地域農業の競争 力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市やJA越後上越等、関係機関との連携のもと、水稻や大麦などの新品種の普及、加工利用促進の活動を実施する。 ・水稻の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導等の活動を積極的に実施する。 ・農業者、消費者向けの農業イベントとして、「農研機構マッチングフォーラムin北陸」を開催し、北陸地域農業の活性化、競争力強化に繋がる活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸農業に適した水稻、大麦、大豆品種の開発を継続。 ○業務用に適した水稻品種、米麩用の水稻品種等について、上越市やJAえちご上越等と連携し、研修会・研究会等を通じて普及拡大を図った。 ○水稻の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導・相談等の活動を実施した。
8	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 中 日本農業研究セン ター 上越研究拠点	A-1-4 C-2-1	農業と科学技術に対 する市民理解の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農業試験研究機関の社会貢献的な活動として、小学生を対象とする「食と農の科学教室」の開催に取り組む。同様に、農業高校生、農業者、農業関係者等を中心とした学習・見学対応にも積極的に取り組む。 ・広く一般市民向けのイベントとして、一般公開を開催し、研究成果の展示、講演会、育成品種の試食、実験・体験等の企画を通じて最新の農業技術に関する情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年、農業関係者、消費者等の一般市民に対する、農業技術に関する情報提供活動の一環として、「食と農の科学教室」(小学校5年生対象、18校692名が参加)を実施した。
9	新潟県上越地域振 興局	B-2-2	生涯を通じた女性の 健康支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○女性が抱える様々な健康に関する相談の窓口(電話及び来所) ○普及啓発 ・ホームページ、市の広報、地元新聞等を通じて正しい知識の普及啓発 ○検討会を開催し、関係機関のネットワークを構築するとともに事業を実施する 	<p>女性が抱える様々な健康に関する相談に対し保健師等、専門職が対応した。</p> <p>高校生の講演会、事業所における健康講座等を活用して、正しい知識の普及啓発を行った。</p>
10	新潟県上越地域振 興局	B-2-2	不妊に悩む方への 特定治療支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○助成の対象となる方 ・特定不妊治療を受けた法律上の婚姻をしている夫婦であって、次の(1)～(3)の全てに該当する場合。 (1) 特定不妊治療以外の治療法によっては、妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師に診断された方 (2) 夫又は妻のいずれか一方又は両方が新潟県内(新潟市を除く)に居住している方 (3) 治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である方 ○対象となる治療 ・新潟県知事が指定した医療機関で行う体外受精及び顕微授精(凍結胚移植を含む。)です。 医師の判断に基づき、やむを得ず治療を中止した場合についても、卵胞が発育しない等により卵子採取以前に中止した場合を除き、助成の対象となります。 ○申請の方法など ・助成内容や回数及び申請書類等は、上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課にお問い合わせの上、申請してください。郵送による申請も受け付けています。 	<p>窓口への持参及び郵送での申請に対して申請書類等を受取り、該当基準に併せて内容を確認する等、適正に書類を進達した。(令和4年度からの保険適用に伴い経過措置として対応)</p>
11	新潟県上越地域振 興局	B-2-2	こころと身体の健康 相談	<p>こころと身体の健康不安に関わる相談を無料で受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話相談 <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間:平日8時30分～17時15分 ・電話番号:025-524-6132(地域保健課直通) ○来所相談 <ul style="list-style-type: none"> ・対応時間:平日8時30分～17時15分 ・面接での相談対応は、原則として、事前の予約が必要です。 	<p>こころと身体の相談に対し、専門職(保健師・管理栄養士・精神保健福祉相談員等)が相談に応じた。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
12	上越教育大学	C-2-1 C-2-2 D-3-2	公募型地域貢献事業	<p>「組織的な地域交流」「地域貢献」につながる事業や「地域の活性化」「地域振興」につながる事業を「公募型地域貢献事業」(以下、本事業。)として、学内の教員から各種事業を募集・実施することで、本学教員の教育・研究成果を広く地域社会に還元する。また、事業の企画にあたっては、その内容や成果等が本学学生に反映できるものであることのほか、本学学生以外の学外者(学校・教育関係者や地域住民等)が参加できるものであることを求める。</p> <p>なお、本事業は、毎年度、学内の教員から各種事業を募集し、別途定める審査基準により審査・採択する。</p>	<p>上越市における課題の解決や地域の活性化に資する各種事業を学内で募集し、8つの事業を実施した。各事業に本学の学生も参加することで、大学の教育・研究成果を地域に還元し、「障害のある人でも暮らしやすいまちづくり」「中山間地域の課題解決」「地域の伝統文化やアートを生かした地域貢献事業」等を推進することや、若者の地域への愛着・当事者意識を醸成する事業等とおして地域の活性化を見込んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上越地域難聴幼児支援事業 ②みんなでつくる共生のまち ~WheelLogを活用して~ ③大学・学校・地域連携型の学習支援活動のモデル事業 ④上越地域のエネルギー環境教育の推進とそれに関わる地域ネットワークづくり ⑤U16プログラミングコンテスト&プログラミング講座 ⑥アート活動を軸にした放課後の地域ネットワークづくり ⑦地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業 ⑧男女共同参画社会の構築に向けた教育課題・地域課題の探究
13	上越教育大学	C-3-2 D-3-2	外国人留学生の雪国宿泊体験(スキー等を含む)による上越市の国際化推進事業	<p>スキー発祥の地である上越市の地域性を生かし、ほとんどスキーをしたことのない外国人留学生に宿泊を伴うスキー等の体験を通して、冬の上越市の魅力に気付かせる。</p> <p>その魅力を参加した外国人留学生の出身国の人々や友人である他の外国人留学生等に情報発信してもらうことにより、上越市の国際化を推進するとともに、地域の活性化に資する。</p> <p>なお、具体的な情報発信の方法として、次のような取り組みを予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越教育大学のホームページにおいて事業内容を掲載することで、海外の交流協定締結大学の学生に上越市の魅力を広く紹介する。 ・留学生から、本事業を通して知ることができた上越市の魅力について、SNS、メール、口コミ等により、広く紹介してもらうよう働きかけを行う。 ・上越市のまち・ひと・しごと創生推進協議会のSNSページを活用させていただき、事業内容を紹介する。 ・本年度新たに作成したホームページの「上越教育大学留学生ネットワーク」に本事業におけるスキー等の情報を掲載する。 <p>昨年度は、本学に在学している留学生から情報を発信してもらっていたが、このホームページは、本学を修了した留学生に対して情報発信をするもので、本国に帰国した留学生に見てもらうことで広く海外に紹介する。</p> <p>・本学に在学している留学生については、毎年、修了生と新入生により入れ替わりがあり、本年度は新入生として20人程度の留学生が入学した。</p> <p>このことにより、昨年度とは異なる留学生が参加することで、情報発信の幅が広がり上越市の魅力を新たに紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した留学生にアンケートを行い、本事業の魅力的なところ及び外国人留学生の目線から見た上越市の魅力的なところや意見等を記載してもらい上越市の国際化推進の参考としていただく。 <p>収集したアンケートについては、集計を行い上越市に提出する。</p>	<p>外国人留学生の雪国宿泊体験(スキー等を含む)を令和5年2月21日～22日の1泊2日で実施した。参加人数は外国人留学生13名、引率教職員4名の計17名。キューピットバレイスキー場、宿泊体験交流施設月影の郷を利用し、地域住民との交流を図ることができた。月影の郷では雪像づくりに挑戦し、2月25日開催の灯火の回廊で雪像を展示した。その様子を本学のホームページ等で発信、また中国・インド・カザフスタン・チリ・トルコ等広域の外国人留学生にもSNSを通じ、雪国上越の魅力を発信してもらい、国際化推進を図ることができた。</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
14	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	看護大・上教大連携 公開講座	「長寿の秘訣！健康で豊かに生きる」をテーマに、両大学の教員各2名が講師を務める。 参加費無料、参加者約140名(令和元年度実績)	「長寿の秘訣！健康で豊かに生きる」をテーマに、両大学の教員各2名が講師を務め、83名が参加した。
15	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	いきいきサロン	全6テーマで実施する。 ・腰痛症 そんなに心配しなくても大丈夫ですよ ・リラックスできる温泉の入り方・選び方 ・知っておきたい耳、鼻、のどの病気とその対策 ・これならできそう 運動療法 ～糖尿病予防 できることからはじめましょう～ ・ストレンスを活かした豊かな暮らしについて ・認知症になっても笑顔で暮らしたい 講師は本学教員の他、医療機関院長等が務める。 参加費無料、参加者各100名前後(令和元年度実績)	上越地域で勤務する医師や本学教員等を講師に以下のテーマを実施し、延べ398人が参加した。 ・これならできそう運動療法 ・大人の発達障害 ・”まご”疲れしていませんか？ ・見方が変われば世界が変わる ・災害に対する家庭での備え ・生活習慣病について
16	新潟県立看護大学	A-2-2 B-2-2 D-3-2	看護職学習支援公 開講座及びバーチャ ルカレッジ	看護職学習支援公開講座 ・看護応援トピックス 2コース ・看護研究支援 9コース ・看護実践現場に活かす 2コース 講師は本学教員の他、医療機関認定看護師等が務める。 参加費1,000～3,000円、定員各10名～80名 バーチャルカレッジ ・インターネットを利用し、本プロジェクトホームページ上へ掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラム。受講者の学びの場や時間を限定せず、インターネット環境さえあればいつでもどこでも繰り返し学ぶことができ、自分のペースで学習することができる。 ・参加費無料、ただし会員登録が必要	・看護職学習支援公開講座 本学教員が講師となり7コースをオンラインで開催し、延べ163名が参加した。 ・バーチャルカレッジ インターネットを利用し、ホームページ上に掲載された動画等の教材を用いて学習することができるプログラムを提供した。
17	新潟県立看護大学	B-2-2 D-3-2	出前講座	一般向け全13テーマ ・いざというときに役立つ“子どものホームケア” ・認知症のこと知りたい ・薬物依存症 他 看護職・介護職向け全6テーマ ・看護職・介護職のための緩和ケア講座 他 講師は本学教員、講師料及び謝金等は不要、旅費を負担していただく。 実施件数22件、参加者延べ769名(R2.2.3現在)	上越市社会福祉協議会、公民館、保育園・幼稚園ほかで17回実施し、延べ284名が参加した。
18	上越信用金庫	A-2-2	上越市創業支援ネッ トワーク事業	・当金庫が、上越市、上越商工会議所、日本政策金融公庫、地元金融機関5行(第四銀行・北越銀行・八十二銀行・大光銀行・新潟県信用組合)と連携し、「上越市創業支援ネットワーク」(平成25年8月組成)を運営。行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウを集約し、創業しやすい環境を整備しながら創業を促進することで、雇用の機会の創出を踏まえた地域経済の活性化に結びつける。	・創業支援ネットワーク会議開催(令和4年4月22日、7月21日、令和5年1月19日 創業セミナーの企画、開催後の検証等) ・「創業セミナー」開催(令和4年11月12日 ネットワーク構成機関によるトークセッション、補助金等支援施策の説明等) ・「創業塾」共催(令和4年10月8日、15日、29日、11月5日、12日 全5日間 参加者65名 創業計画書の作成指導等)

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
19	上越信用金庫	A-1-1	上越地域連携プラットフォーム事業	・当金庫が代表機関となり、上越商工会議所、新井商工会議所、糸魚川商工会議所、新井信用金庫、糸魚川信用組合の5機関と連携し、登録支援機関「上越地域連携プラットフォーム」(平成25年9月組成)を運営。専門家派遣、合同セミナーの開催、ビジネスマッチングの取組み、連携連絡会議の開催、合同研修会の開催等により、地域の支援機関が連携し、地域の中小企業・小規模事業者へのビジネス創造や経営改善・革新等のサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。	・新潟県よろず支援拠点事業関係機関連絡会議(令和4年4月21日、5月30日 県の支援施策、支援事例の合同勉強会) ・「事業承継セミナー」開催(令和4年12月13日 新潟県事業承継引継ぎ支援センターとの共催 支援制度、好事例紹介等)
20	上越信用金庫	B-2-4 C-2-1 C-2-2	ふるさと絆プロジェクト事業	・各地域行事への積極的な参加。 ・小学生図画・版画展覧会の開催。 ・幼年野球への支援。 ・小・中・高校生の会社見学等の受入による金融リテラシー教育に係る活動。 ・上越市「中山間地域支え隊事業」への企業登録及びボランティア派遣による支援活動。 ・地域経済の景気動向調査活動。	・年間3回の作業部会を開催し、事業計画から推進、進捗管理を実施 ・地域密着活動として29行事に対し、のべ312名が参加 ・中山間地域支え隊活動への参加 ・地域の景気動向調査を年4回実施 ・6月15日の信用金庫の日に店舗周辺の清掃活動、募金・献血、花いっぱい活動(種の配布)を実施 ・金融リテラシー活動として職場見学を市内2中学校に対し実施 ・小学生図画・版画展の開催
21	上越信用金庫	A-1-1	地域産品の情報発信等	—	・上越ものづくり振興センター様からご協力をいただき、メイド・イン上越認証品の販売会を実施(8、10、12、2月の年金支給日に開催)
22	上越信用金庫	A-2-2 B-1-1 C-2-1	SDGs取組支援サービス事業	—	・上越信用金庫SDGs取組支援サービスの取扱い開始(令和4年10月3日より受付開始) 「SDGs宣言書」の作成および宣言項目の達成等に向けた伴走支援を継続していくサービスであり、具体的な内容は、 ①SDGs取組状況のヒアリングと評価、②SDGs宣言内容の策定と対外PR支援、③SDGs取組みの課題解決支援。
23	連合新潟上越地域協議会	A-2-2 B-1-1	働くことを軸とする安心社会の実現	具体的には、働く人の視点に立った5つの「安心の橋」を架ける運動に取り組むことで、活力にあふれ、自己実現に挑戦できる参加型社会を推進しています。あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を支える基盤構築のために、地方分権を進め、公平な負担にもとづく持続可能な社会の構築をめざしています。 ①働くかたちを自由にする橋(ライフステージに応じた、柔軟でディーセントな働き方を整備する。) ②失業と雇用をつなぐ橋(職業紹介、職業訓練、所得保障の一体的支援で、スムーズな復職をサポートする。) ③家族と雇用をつなぐ橋(子育てや介護を社会全体で支え、男女平等参画社会を構築する。) ④教育と雇用をつなぐ橋(「貧困の連鎖」を断ち切り、学ぶ場から働く場へ円滑に移行できる制度を確立する。) ⑤退職と雇用をつなぐ橋(高齢者の知識や経験を社会に活かし、老後の安心を保障する制度を構築する。)	①加盟組合から日常生活の向上に向けた要請を集約し行政へ提起する 妙高市:3月3日 上越市:3月7日 糸魚川市:3月28日 要請項目は13項目 ②連海上越推薦議員との意見交換会 6月18日(土) 20人参加 梅谷守衆議院議員 小山芳元新潟県議会議員 秋山三枝子新潟県議会議員

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
24	連合新潟上越地域協議会	B-2-2 C-2-1	共生社会の実現	-	①フードバンクじょうえつ支援 フードバンク:4月29日(金)第93回上越地区ミーティングにて食品や文房具を募集 18種類 532品 寄贈 フードパントリー:開催時の運営補助 商品陳列・利用者案内・後片付け年間9回 29人参加 ②各種イベント補助 上越市100kmマラソン大会運営ボランティア 2022年10月9日(日)23人参加 中山間地支え隊 灯の回廊 月影の郷 ボランティア 2023年2月25日(土)19人参加 ③福祉施設訪問ボランティア 新光園・かなやの里・五智養護老人ホーム・いなほ園 2022年5月延べ76人参加
25	上越市町内会長連絡協議会	C-2-2	町内会長まちづくりの集い	○地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長に対して、地域づくりに関する情報を提供し、市とともに地域づくりを進める意識の醸成を図ることを目的に、平成23年度から市と上越市町内会長連絡協議会の共催事業として実施している。 ・令和元年度は7月10日に開催し、参加者は625人(町内会長474人、町内会役員など151人)であった。 ○実施内容(基本フレーム)は以下のとおり。 ・上越市町内会長連絡協議会長 あいさつ ・上越市長 あいさつ ・町内会活動事例紹介(3団体) ・講演(専門家講師)	令和4年7月15日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
26	上越市小中学校PTA連絡協議会	B-1-1 B-2-3 B-2-4	研究大会事業	上越市小中学校PTA連絡協議会 研究大会 内容等は未定	ワークショップ コロナ禍におけるPTA活動について、これからの活動について
27	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	A-1-4 C-1-2	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	中山間地域等直接支払交付金や市補助事業を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。 また、地域マネジメント組織の代表者と定期的に各種制度の情報提供や意見交換を実施する。 ○中山間地域振興作物生産拡大事業、農産物等庭先集荷サービス事業、ふるさと玉手箱事業による支援(市補助事業) ○推進協議会、研修会等の開催	・中山間地域農業の「将来ビジョン」の作成に向けた取組 農業関係者が参画するワークショップを市内7地域自治区で開催し、地域の合意を下に、課題解決に必要な5つのテーマ別(「担い手」「作物」「機械」「土地」「組織」)に整理し、将来の農地利用や地域農業のあり方を「将来ビジョン」としてまとめた。 ・中山間地域元気な農業づくり推進員等による活動支援 専門的な知識を有する元気な農業づくり推進員等を2人配置し、「将来ビジョン」などの話合いの場で農業者の前向きな意見を引き出すファシリテーターとして参画したほか、農業者等へ農業所得向上に向けたきめ細かな指導、助言を行った。 ・中山間地域振興作物生産拡大事業補助金 農地の保全と農業生産活動を維持するため、そば等の振興作物を栽培する農業者等を支援した。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
28	上越発酵食品研究会	A-1-1 A-1-4 C-3-2	発酵食品の開発促進と「発酵のまち上越」のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドイメージの発信…継続した「発酵のまち上越」の魅力の発信 ・売れる商品開発…商品の磨き上げや新商品開発の促進、農商工・産学連携マッチング ・販売促進…PR機会の提供、飲食店等出口とのマッチング ・利用シーン拡大…飲食店における地域発酵食品を活用したメニュー化の促進 ・次世代継承…次の世代への継承 	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSで「発酵のまち上越」をPRした。 <p>【講演・講座・学習会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校と連携し、上越の発酵食品に関する校外学習を実施するとともに、子ども達から味噌の新しい食べ方を考案してもらい味噌の消費拡大を図った。 ・謙信KIDSプロジェクト「食」の講座において、小学生向けに味噌の仕込み体験や味噌、醤油を使った調理実習などを行い、次世代に発酵食品の魅力をPRした。 ・大潟地区公民館事業において、発酵のまち上越の取組についての学習会及び、全国の味噌の味比べを実施した。 ・上越教育大学と連携し、東京農業大学の小泉武夫先生を招き、発酵食をテーマとしたフォーラムを開催した。 <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育月間1DAYにおいて、みそまる作り体験を実施することで、発酵食品文化の啓発に努めた。 ・越後・謙信SAKEまつりに合わせ、高田まちかど交流館にて上越産酒粕を使った「さかきん発酵鍋」と「雪むる酒かすラーメン」を販売し発酵のまち上越の新名物としてPRした。
29	NPO法人 食の工房ネットワーク	C-3-2	上越市委託イベント 開催業務 自主イベント竹あかり	—	上越市の委託事業で2回のイベントを実施しました。そのほか3月には地元協議会と竹あかりのイベントで正善寺地区のピーアール活動を行った
30	NPO法人 食の工房ネットワーク	A-1-1 C-4-1	新潟県消費喚起・需要拡大事業 上越 まるごとモリあげ祭	—	助成金を活用し、飲食店・商店などをスタンプラリーで周り・景品交換イベント前日には、正善寺地区で花火をあげた。イベント当日は利き酒マラソンの通過ポイントにもなり集客は1,266人、15店舗の出店もかなりの売り上げがあった
31	雪だるま財団	A-1-1	自然エネルギー推進事業	<p>○雪室活用事業</p> <p>(1)雪室貯蔵の技術、効果などについて情報提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪室の見学、説明等の対応 ・事業者に対し貯蔵アドバイス等を行う <p>(2)地域ブランド化の支援</p> <p>(3)雪室設計、利雪技術支援など</p> <p>○雪国の情報発信</p> <p>(1)雪穴や雪室という文化を後世へ残していくため、上越地域の雪国文化の情報収集等を行う</p> <p>(2)雪を活用したイベント等の事業提案、協力、情報発信等</p>	<p>自然エネルギーの普及、推進のため、以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪室食品の貯蔵支援 ・雪エネルギー導入等のアドバイス、視察対応 ・和田の雪室の利活用推進と運営支援 ・雪室推進プロジェクトの運営支援(事務局) ・小、中学生を対象とした学習支援 「雪を活かす」取り組みの講話、ユキノハコの見学など

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
32	雪だるま財団	C-1-2 C-4-1 D-1-1	ふるさと交流事業	<p>体験型観光交流の受入及び促進</p> <p>(1)大人・企業・インバウンドなど様々な顧客ニーズに応えられるよう、地域・人・施設等の連携を図り、新しい体験プログラムの検討、既存のプログラムのレベルアップ、受入れの課題解決などを図る。 例)個人旅行、インバウンド等、体験・交流を含めた観光事業として、ターゲットに応じた商品を開発し販売する。</p> <p>(2)受入地域の拡大、インストラクターの人材育成 例)体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーの実施</p> <p>(3)営業・情報発信を行ない、農泊の推進も継続していく。</p>	<p>越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、「越後田舎体験」事業の運営支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入を行った。 ・小学校16校、中学校17校、高校3校、専門学校・大学4校 ・近隣県や県内への営業活動を行った。 ・リモートによる商談会や情報提供を行った。 ・民泊に代わる体験として、新しいプログラム「探究学習プログラム」を提案し、プログラム実施のための検討会を行った。 <p>地域・各種団体と連携し、地域活動支援事業の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市安塚区地域支援事業を活用したイベントの開催支援 ・やすづか小さな祭りの企画・運営支援(10月)
33	株式会社大光銀行	A-1-1 A-2-2	各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供	<p>「第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向けて、各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供する。</p> <p><実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業者や地域企業への金融支援、非金融サービス、情報提供等 ・クラウドファンディングを活用した地域製品のPR ・「空き家対策ローン」(空き家リフォームローン、空き家解体ローン)の活用 ・「リバースモーゲージローン」の活用 ・「医療・介護・福祉」分野、「農業・六次産業化」分野、「環境・エネルギー」分野、「創業・第二創業」分野、「事業継承・M&A」分野への支援 ・ビジネスマッチング、商談会等の販路開拓の機会提供 ・各種セミナーの開催による情報提供 ・外部専門機関の紹介 等 ・企業の人材不足解消への支援(人材確保支援、IT・RPA等を活用した生産性向上支援、業務効率化支援等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍により影響を受けている中小企業・個人事業主等への金融支援に注力 ・各種補助金・助成金等の情報提供、申請書類作成等のサポート ・WEB・オンライン等を活用した当行取引先への営業支援(オンライン商談会、WEB上でのビジネスマッチング推進、WEBセミナー開催)を展開
34	株式会社富山第一銀行	A-1-1 A-2-2	仕事づくり事業、就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定支援 ・各種専門家派遣による支援 ・積極的な補助金制度の活用 ・当行ネットワークを活用したビジネスマッチング推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定支援 ・各種専門家派遣による支援 ・積極的な補助金制度紹介、申請支援 ・当行ネットワークを活用したビジネスマッチング
35	株式会社八十二銀行	A-1-1	商店街活性化事業 地方創生活活性化事業	—	●対象先1先の金融支援実施
36	日本政策金融公庫 高田支店	C-2-2	ソーシャルビジネスへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市、くびき野NPOサポートセンター、上越信用金庫と公庫の4者で「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」を組織し、地域や社会が抱える課題の解決に取り組むソーシャルビジネスの担い手の皆様の支援しています。 ・金融面でも、「ソーシャルビジネス支援資金」等の取扱いを行っており、平成30年度のソーシャルビジネス関連融資実績は、全国で11,328件、834億円(うちNPO法人への融資実績は、1,381件、87億円)となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルビジネス支援資金」融資制度を通じて、NPO法人や社会福祉サービスなどソーシャルビジネスの経営者を支援しています。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
37	日本政策金融公庫 高田支店	A-2-2 D-3-1	高校生ビジネスプラン・グランプリ(創業・新事業への支援)	日本公庫では、次世代を担う若者の創業マインドの向上を図るため、平成25年度から全国の高校生を対象としたビジネスプランコンテストを開催しています。平成30年度の第6回グランプリには全国で396校が参加し、4,359件のエントリーがありました。希望のあった高校では、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて出張授業を行っており、上越市内でも複数の高校で出張事業を行った実績があります。	次世代を担う若手の創業マインドの向上を図るため、平成25年から続く「第10回高校生ビジネスプラン・グランプリ」(全国の高校生を対象としたビジネスプランのコンテスト)を実施しました。
38	日本政策金融公庫 高田支店	A-1-1	事業承継への支援	事業の安定と発展、事業継承等を支援し、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増大にもつながり、市内への人の流れにもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農作物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業継承・集約・活性化支援資金を通じての金融支援を進めていきます。令和2年4月からは、事業承継マッチング支援を全国展開し、事業引継支援センター等の外部機関とも連携し、地域を超えて事業承継を支援していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継資金」融資制度を通じて、事業の承継を図る経営者を支援しています。 ・「事業承継マッチング」を通じて、事業の譲渡を希望する経営者と事業の譲受を希望する経営者を支援しています。
39	日本政策金融公庫 高田支店	A-2-2	事業創生プロジェクト(創業・新事業への支援)	日本公庫では、「新規開業資金」などのご融資を通じて、あらたに事業を始める方や事業開始後間もない方のお手伝いをさせていただきます。地元での開業企業数を増加させ、地域の雇用を創出していきます。具体的には、上越市創業ネットワークのメンバーとして、創業セミナーの開催や公庫創業サポートデスク等を通じて、様々な情報提供や提案と創業を志す方のバックアップを行っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「新規開業資金」融資制度を通じて、創業を図る方や創業して間もない経営者を支援しています。 ・創業を図る方に「創業セミナー」を開催しました。
40	日本政策金融公庫 高田支店	B-2-2	地域のお子さまの就学支援事業	日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育機会の均等」を目的として、昭和54年に創設されました。平成30年度の利用件数は全国で約12万件です。日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くの大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による就学面の支援を行っていきます。	・「国の教育ローン」融資制度を通じて、進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭を支援しています。
41	東京海上日動火災 保険株式会社	A-1-1	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	各種セミナーの実施を予定	大規模災害発生時等における地域企業の事業継続のための支援(事業継続力強化計画策定支援等)
42	第一生命保険株式 会社 長岡支社	A-2-1 B-2-1	生命保険事業	—	生命保険(外貨建保険含む)・損害保険・がん保険取り扱い 地域貢献取組(高田城址公園周遊ウォーキングイベント、This & Thatさんとコラボしての婚活イベント)
43	MogMogカンパニー の設立準備会	B-2-1	MOG-MOGプロジェクト事業	—	若者の自然な出会いのきっかけを作るべく、前年より2、3か月に1回程度の交流会などを計画・開催してきた。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
44	MogMogカンパニーの設立準備会	A-2-1 A-2-2 C-3-2 C-4-1	13区を中心とした上越市の魅力を発信するアプリコンテンツ制作・利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 開発をしたアプリを使用した、玄関口上越妙高駅からの観光ルート、観光ナビの政策とその運用。 上記を進める中で若い人材や定年後の才能ある高齢者の採用。 上越市内数か所の取材と現行まとめと外国語・日本語のガイド制作。 その後県外・外への普及活動。 多言語展開もできる世界アプリを目指す。 	観光アプリ(Your Travel Agent)を過去3年にわたり、取材を重ね市内の観光スポットを紹介するコンテンツを作ってきた。その、取材の最終段階として13区の取材を行った。
45	上越商工会議所政策委員会(謙信公)	C-4-1	謙信公聖地構想に基づく春日山城の振興/上越・上田・甲府・三国同盟推進事業	<p>三国同盟、必勝祈願の旅を通じた相互送客や情報発信を強化する。</p> <p>①県外市外の観光イベント・商談会への出展 全国山城サミットin上田・坂城大会、観光マッチング商談会への出展等</p> <p>②必勝祈願の旅の催行、並びにろくもん・雪月花相互乗入れ事業の実施</p> <p>③電子媒体を活用した三国スタンプラリー等の実施 個人旅行をターゲットに上越・上田・甲府を周遊させる仕組みづくり</p> <p>④観光事業者の観光マインド醸成事業 観光事業者を連れて全国商工会議所観光振興大会への参加等</p>	<p>①地域うまいもんマルシェへの出展 R4.4/26-5/9 日本百貨店しょくひん館(東京秋葉原)</p> <p>②三国物産展の開催 R4.8/5~8/7 フードマーケットマム若松店(静岡県静岡市)</p> <p>③feel NIPPON 春2023 in ギフトショーへの出展 R5.2/15~2/17 東京ビッグサイト</p>
46	上越観光コンベンション協会	C-4-1 C-4-2	魅力ある観光地づくり事業	<p>○観光施設の管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光案内所運営事業(上越妙高駅、高田駅、直江津駅) 観光施設(上越観光物産センター、高田城三重櫓、海水浴場) <p>○観光イベント支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 高田城百万人観桜会、春日山城跡での観光客への情報提供、越後上越上杉おもてなし武将隊、観光宣伝活動、ホームページ等による観光宣伝、観光パンフレット等の作成、食を通じたPR、物産販売の出店機会の情報提供 <p>○来場者満足度向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアガイド及び有償ガイドの育成と派遣 <p>○誘客促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光振興促進助成事業、観光ツアー商品の提案の開発、広域観光ネットワークの推進、インバウンド事業の推進、募集型企画旅行の造成促進、上越市出身者交流促進事業 <p>○上越市内のコンベンションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> コンベンション誘致活動、コンベンション開催支援事業 <p>○観光物産展推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 上越市の観光と物産展開催 <p>○実行委員会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 上越まつり、上越蓮まつり、レルヒ祭 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション事業、着ぐるみ貸出 	<p>○地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は当協会が事務局として、コンサルタントを交えながら事業を実施し、2月末までに参加施設の改修工事を終了した。 ○地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業 ・旅行会社やメディア関係者16名による1泊2日の上越市内視察を行った結果、8拠点からツアー造成希望の問い合わせがあった。 ・旅行商品の広告宣伝 新潟日報、日経新聞朝刊(東京)、新聞折込広告、阪急交通社員誌、ダイレクトメール、メールマガジン配信などを実施 ・専用ホームページ開設(観光ナビ上越) ・高田小町・誓女ミュージアム高田・旧今井染物屋などの観光案内ガイドやアプリなどDXコンテンツの造成 ・メイドイン上越を中心とした通信販売などを行った。
47	頸城区観光協会	C-3-2 C-4-1	観光事業	上越市内の観光協会とのミーティングや意見交換を実施する。	大池まつりの開催。大池周辺施設を利用したイベントの開催。外国人居住者の参加も視野に入れた「くびきの収穫祭」を開催した。自衛隊関連の婚活イベントの開催に向けたキャンプ場の会場提供。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
48	上越ワーキングネットワーク	A-1-4 A-2-1 A-2-2	1.農福連携 2.共同受注事業 3.共同販売事業	①障害者就労支援事業が独自に農業を行う。 ②地域の農業者の手助けとなるよう障害者就労支援施設が一部の農作業を委託実施する。 ③①、②を通じて障害者が地域の農業法人等で働けるようにしたい。	1.上越市農福連携障害者就労支援コーディネート事業の受託。農福連携セミナーを開催 2.行政・企業からの共同受注業務の受託 3.各種イベントでの共同販売会の実施。自主販売会の実施。 ※PR活動。毎月一回FMJ出演。広報誌を年2回発行
49	協同組合くびき野地理空間情報センター	A-1-1 A-2-1 C-3-2	地域情報センター構築、データ加工システム化	関係団体であるORAJA(上越地域活性化機構)や、にいがたGIS協議会と協議を重ね、『地域情報センター』の構築、オープンデータ加工のシステム化の素案作りをすすめ、最終的には誰でも利用できるような形で提供できるようにしたい。	○上越市で公開された公共データの一部のオープンデータについて、利活用に関しての環境整備 ○上越市の行政および地域イベント等の総合情報サイトをwebGISを活用し、地図情報も合わせて構築していきたい。そのための素案作り ・新潟県と県内3社間で締結された災害協定を通じて、オープンデータの利活用などを推し進めていく予定ではあったが、コロナ禍の影響もあって数年間活動がほとんど出来ていない状況であった。そのため、担当部局の方々も大幅に替わってしまった状況である。ただ、昨年11月に新潟県庁で行われた「国民保護訓練」に招かれ見学を行い、その場で今後について少しお話をさせていただいた。現在、にいがたGIS協議会が中心となって災害協定の内容等を再編しているため、協力して進めていきたい。その活動を通して事業も進めていく予定である。
50	雪室推進プロジェクト	A-1-1	雪室、雪室食品推進事業	○雪室グルメフェア開催 地域での浸透を図るため、地元飲食店等と連携し「雪室グルメフェア」を開催する。飲食や物販を通じ、雪室メニューや雪室商品を知っていたく機会とする。また、このイベントをPRし上越への誘客に結び付ける。 ・年2回開催(8月、2月) ・市内の飲食店、洋菓子店、ベーカリーなどが参画し雪室食材を使った特製メニューを提供・販売する。 ・当プロジェクトの活動や雪室商品など、地域内外に情報発信する ○雪室新商品の開発 雪室商品と上越ならではの食(発酵食品、上越野菜、メイドイン上越など)や飲食店等とのコラボにより新商品や新メニューへの展開を図る。	・地域での浸透を図るため、地元事業者と連携し、雪室食材の活用や物販を実施した。 えちごトキめき鉄道 様 「雪月花」特別便への雪室食材協力 にいがたオーガニックフェスタ商品物販PR、灯の回廊イベント物販(雪だるま物産館での販売)など ・雪室推進プロジェクトの活動PRのための取材対応、情報提供を行った。 えちごトキめき鉄道 様への情報提供(雪室見学対応)、金沢大学学生調査研究協力(現地調査・アンケート回答など) ・会議の開催(総会) 会員の状況、取り組みの報告など情報交換を行った。
51	ウエディング推進協議会	C-2-1 D-3-1	美術館アートまつり(11月3日)	—	開催中の展覧会「芸能科の記憶 学び舎から飛び立った作家たち」の関連イベントとして、アートを楽しむイベントを開催します。美術館を会場に、ミニ・ワークショップやコンサート、ファッションショー、古径邸カフェなど、子どもから大人まで楽しめるイベントです。※ https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/kokei/kokei-eventr4.html より抜粋 ウエディング推進協議会は、まちの活性化部会の一環としてファッションショーの部門をサポートしました。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
52	上越助産師会	B-2-2	母子保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ①上越市四季の縁日…秋色縁日にブース参加 ・助産師会の活動紹介(PR) ・(NEW!)産後ケア事業として、生後0~4ヶ月児の子育て中のパパママの相談窓口を開設する。 ・デコルテマッサージを通してリフレッシュを図り、育児に前向きに取り組めるような支援を行う。 ②妙高市出会い~子育て応援フェア参加 ③上越市母子保健事業(委託事業) ④妙高市母子保健事業(委託事業) ⑤性の健康講座(委託事業) ⑥その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、各種研修会・各種講座の講師など 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した事業はすべて実施できた。 ・11月19日(土)マタニティ&子育て家族フェスat直江津…相談やミニ講演など担当 ・2月25日(土)マタニティ&子育て家族フェスat大湯に参加…NPOふぁみりりと連携事業
53	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て親子の居場所づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育ての応援ひろば ふう」を週に2回開設する。 	<p>乳幼児を子育て中の保護者が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として「子育ての応援ひろば ふう」を開設した(毎週2回)。8月からは「地元企業と出会う日」を毎月1回行い、子育て家庭と地元の企業・団体の交流の機会を設けた。親子が地域とのつながりを実感し、安心感を持って子育てをしていきかけの場となった。(上越市地方創生推進補助事業)</p>
54	NPO法人マミーズ・ネット	B-1-1 B-2-2	子育て・子どもの育ちに関する学習・啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て中の人や、子育て支援に関わる人、地域の人等に向けての催し、「子育てわいわいフォーラム」を実施。 ●ワークライフバランスの視点をもった、子育て・子育て支援に関する講師の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士でわが子にあった具体的なしつけの方法を考えあうワークショップを通して児童虐待を未然に防ぐことを目的とした講座を3回実施。(ドコモ市民活動団体助成事業) 「地域で支え合う子育て」を啓発するため市、子育て中の保護者、支援者、地域住民などを対象としたフォーラムを開催。(ドコモ市民活動団体助成事業) ・男性の積極的な育児参加を促すため、父親向けの講座「育休復帰を支えるパパになろう!」を実施。(男女共同参画推進センター講座) ・育児介護休業法が改訂、施行されたことを受け市町村担当者および子育て中の父親を対象とした講座「笑っているパパを増やそう!」を新潟県子ども家庭課と共催で実施。
55	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	子育て世代の交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」の実施 ●育児サークルのネットワーク化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において情報交換の機会が少ない就労している母親が他の親子と交流する場として「体験型ワークショップゆるふわおしゃべり会」を4回実施。(新潟県つながりの場づくり支援事業) ・育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」を1回実施。
56	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2	保育コーディネート事業	<ul style="list-style-type: none"> ●保育ルームの設置については企業・行政・団体等からの依頼により随時実施 ●保育ボランティアを集め、研修機会を設けていく。 ●保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・行政・団体からの依頼により保育ルームを設置した ・保育ボランティアを集めて研修を行った ・保育ボランティアが地域人材として活躍できるよう支援した

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の実施内容
57	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-5	上越の子育て環境の魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ●県外、市外での子育てに関する講演のなかで、上越の子育て支援について紹介する。 ●様々な機会の上越の子育て環境について紹介する。 ●SNS上での「#上越の子育て」発信を継続していく。 ●0歳から3歳の子どもを育てる家族に向け「親子フェス」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子向けイベント情報を収集し、イベントカレンダーの制作(毎月)、コミュニティFM局への情報発信(毎週)を行なった。 ・上越で子育て中の保護者に、Instagram上で「#上越の子育て」を活用してもらい、広く上越の子育ての魅力を発信した。(上越市地方創生推進補助事業)
58	NPO法人マミーズ・ネット	B-2-2 B-2-4	子育て支援団体のネットワークづくり事業	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援を行うNPO法人や、特定の課題を持つ親子を支援する団体等が、顔の見える関係づくりのための交流会を実施。互いに活動内容を理解したうえで子育て支援のネットワークづくりを行った。(上越市地方創生推進補助事業)
59	NPO法人ふぁみりり	B-2-2	マタニティ&子育て家族フェスat直江津、at大潟(地域活動支援事業)	—	<p>上越市内で妊娠、出産、育児をする世代を対象に、子育てを支援する(区内企業を中心に)企業・団体、マタニティ・子育て支援活動をしているサークル・個人に出展してもらい、参加型フェス。各出展ブースでは、団体・企業・商品PRの他、習い事やサークル体験、各種制作体験、妊婦の体調相談(市の保健師)、育児や母乳の相談(上越助産師会)、栄養相談(市の栄養士)、発育測定、保険や資金調達の個別相談、テイクアウトの飲食物販売、雑貨販売、キッチンカー等。コロナ禍で益々孤立を余儀なくされている妊産婦や子育て世代の家族が官民を越えた地域のサービスや情報とつながることで、子育て中の孤立・孤独・孤育てを防ぎ、少子高齢化社会のなかでも安心して子育てができるまちづくりを目的に開催した。</p>
60	NPO法人ふぁみりり	B-2-2	産前産後訪問支援	—	<p>心理的・肉体的に不安や困難を抱える妊産婦及びその家族が安心して赤ちゃんを迎えるため(または赤ちゃんと過ごすため)の生活を整えることを目的として、上越市の産前産後ヘルパー事業では利用できない期間・条件・内容の家事支援、育児支援、配送支援、相談支援、行政又は民間サービスの紹介、各種申請代行等を行い、必要に応じて関係機関・行政の支援に繋げる事業を自主事業として行う。2023/3より事業開始。対象となるのは妊産婦だけでなくその家族を含め、個々の状況に合わせ必要な支援が届けられるよう支援内容は柔軟に対応する。</p>
61	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1	空き店舗対策事業	<p>①本町商店街出店サポートセンター 物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。 本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行なう。 月～金9時～18時開設中(要事前連絡)</p> <p>②本町商店街空き店舗巡りツアー 本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。 物件の情報だけでなく、街の雰囲気や体験してもらえよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。 2カ月に1回開催予定(第1土曜日)</p>	<p>○空き店舗調査※12年目 目的 中心市街地の遊休不動産の状況把握と情報の共有→商店街への出店やテナントの貸出を促進する ・上越市本町3・4・5丁目地内の315物件を中心とした、物件の使用状況調査。 ・商店街内の出/退店情報の集約と共有(年12回) ・中心市街地空き店舗情報サイトの情報更新(年4回)</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
62	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1	ほんちようハロウィンまつり ※10年目	—	目的 商店さんとの触れ合い、商店街での思い出づくり→将来の商店街利用を促進する ・上越市本町3・4・5丁目地内の30～40商店におけるトリック・オア・トリート ・上越市本町3・4・5丁目地内に3か所のフォトスポットを設置 ※上越国際交流協会と連携(英語でたのしむハロウィン広場)はコロナ禍のため休止。 ※コロナ禍で人数制限をかける前は、毎年500人超のこどもが参加。 ・今年度は各店のハロウィン商品やキッズ向け商品のPRサイト&チラシを作成。 ※当日の利用者が、前年比7割増になった商店もあった。
63	高田本町まちづくり株式会社	C-1-1 C-3-2	本町ガチ盛りまつり ※9年目	—	目的 レルヒ祭を、金谷山の麓の高田の街からも盛り上げる。 ・飲食店各店で通常の3.5倍以上の特別メニューを提供 ・商店街との連携スタンプラリーを開催 ※参加者は約2500人。特別メニューの合計売上は昨年比3割増。 ※Teny新潟一番での生放送、新聞での一面カラー報道など、話題作りにも貢献した。
64	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-1-1 C-1-3 C-4-1 D-1-1	雁木の街「越後高田」の街なか遺産を活用した文化観光・百年体験事業	①宇喜世及び他の100年遺産の歴史体験、文化体験、観光、食事、物販を自由にセット・カスタマイズできる現在も日常生活の場として利用されている遺産を活かした文化体験ツアー。 ②レンタル和服に着替え、仲居接客(目配り・気配り・心配り)体験、仲居頭からの「おもてなし」講義等を、100年料亭で世界に誇れる「おもてなし」のプロ仲居体験プラン ③語り手より百年遺産(建屋・老舗・町屋)等の歴史・文化の説明を受け、雁木の街並みや神社・寺院等を散策する、雁木街歩き「百年文化と老舗めぐり」ツアー。 ④県外在住の上越出身者に向け、100年の歴史文化越後高田で和の祝宴プランの展開。婚前の「顔合わせ」「結納」をメインに、家族規模の挙式・披露宴を行えるプランも充実予定。 ⑤浄興寺大門通りを「城下の街並みシンボルロード」と位置付け、まち歩きの語り手説明以外にも、神輿(日枝神社)の巡行、駐車場を利用した夏祭りイベント等を開催する。	①観光庁認定「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業(文化資源「連携型」「百年建築」と「専念食材」)による高付加価値事業におき、【文化財「百年建築」を学ぶ研修会】及び【百年建築×無形民族文化財「折平の獅子舞」×「千年御膳」と地酒を楽しむ会】を実施 ②文化庁認定「食でつながる日本の文化」事業におき、「百年料亭 宇喜世」の建築的な価値を学び、食文化と結び付けた観光とまちづくりを考える講習会及び市指定文化財岡田の春駒の鑑賞と、千年御膳と、地酒を味わう会を実施 ③トキ鉄「雪月花」車内料理提供事業におき、ご乗車のお客様に「鰻釜めし」の提供を実施

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
65	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-3-2 C-4-1	酒造蔵・醸造文化発信事業	<p>①醸造所の見学 醸造所の改装に伴い、一般の方にも酒蔵を体験できる見学会を開催し、市外からの観光客及びインバウンド客を誘客することで日本酒の奥深さを知ってもらう。</p> <p>②上越産土産売場の設置 上越名物や特産品を手軽に購入できるコーナーを醸造所内に設置し、高田まち歩きの中でおみやげ品等の対応も出来る環境づくりを提案する。</p> <p>③試飲・食事のもてなし 敷地内の「楽酔亭」で庭園を鑑賞しながらの、見学者等に対応した利き酒や試飲を体験してもらうと共に、一般客や観光客に対しての食事の席も用意することで日本酒を満喫してもらう。 ※すべての事業の様子を画像・動画で情報発信し、また、来場、来店した方にも情報発信を促す。</p>	<p>①新ブランドを立ち上げ事業 今年度は「食用米も使用し仕込みにこだわる」をテーマに、酒米以外にコシヒカリ・ツキアカリ・低たんぱく米ゆめかなえを使用し、仕込みは室町時代から江戸時代の奈良菩提飯仕込みや生提仕込みを行い、赤ワイン樽で熟成された樽熟をボジョレーヌーボー解禁日に発売を実施</p> <p>②小ロケットオリジナル日本酒生産の企業向け説明会を実施</p>
66	上越商工会議所政策委員会(大島G)	C-3-2 C-4-1	着地型観光事業	<p>○観光受け入れ業者の開拓とプログラムの開発: 来訪する人の五感に訴える体験メニューなど外客を受け入れる態勢と受け入れ側の協力体制の構築に向けたネットワーク化を推し進め、可能な限り具体的なプログラムを可視化していく。</p> <p>○着地型企画商品の造成、広報、募集、催行: 受け入れ施設のネットワークを活かしたまち歩きや各施設でのさまざまな体験をはじめ、上越名物や特産品を手軽に購入できるツアー商品等の造成を行う。また、ジャンルに合わせたターゲット層の絞り込みによりSNS配信などによるwebをメインとした集客募集を実施し、観光による地元への経済効果につなげていく。</p>	<p>新潟県認定「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業におき、上越・妙高の「ほんもの体験」モニターツアーを企画、百年料亭宇喜世の食事、酒造蔵・味増蔵の伝統文化を視察、百年商店街でショッピング等のコースで実施。</p>
67	花のまち高田プロジェクト	C-1-1 C-4-1	花のまち高田プロジェクト	<p>◆事業の概要・・・「花」をテーマに四季を通じた商店街ならびに中心市街地活性化に取り組む。</p> <p>春・・・「世界の桜」の写真展の開催。→インバウンド×観桜会誘客×個店PR</p> <p>夏・・・「お水鉢プロジェクト」の開催。→ 蓮まつりPR×商店街PR×まちの景観作り。</p> <p>秋・・・「ただ花ロードウィーク」の開催。→アート×商店街振興×まちなか回遊。</p> <p>冬・・・「本町ウインターマーケット」の開催。→インバウンド×商店街振興</p> <p>上記のイベントは、本町商店街、まちづくり上越、高田まちづくり株式会社、オープンガーデン愛好会等と連携して実施していく予定。また、時期や期間、回数などは時流や予算を鑑みながら検討し、進めていく。</p>	<p>①城下町高田花ロード実行委員会→花フェスタ(春のオープンガーデン会期中の2022年6月4日(土)、5日(日)開催)</p> <p>②オープンガーデン愛好会→春のオープンガーデン/秋のオープンガーデン</p> <p>③お水鉢プロジェクト(商店街個店とオープンガーデン愛好会会員宅にてお水鉢の展示、夏のお花見ツアー2022年8月7日(日)開催)</p> <p>④インバウンドで本町を盛り上げるおかみさんの会(外国人観光客への誘客カード配布し、商店街でお買い物された方へポストカードを粗品として進呈をレルヒ祭に合わせて2023年2月に開催)</p>
68	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	C-1-2 C-2-1 D-1-1 D-3-1	地域づくりを担う若者の人材育成	<p>・地元中学校を対象にしたUターン教育の実施(年10回程の座学とフィールドワーク)</p> <p>・インターンシップの受け入れ(秋に2大学を予定)</p>	<p>・地元小中学生を対象にしたUターン教育活動(総合学習、クラブ活動、放課後活動、長期休み中の体験イベントなど)を実施</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
69	株式会社北信越地域資源研究所	A-2-1 D-1-1	何か始めたい人のための広場「フルサットアップス」	—	ワーク・ライフ・バランスを考え、様々な「悩み」を抱えている社会人のメンタリングを通じた問題解決を行い、起業など新しいことをやりたい人の後押しとなる企画を行った。 相談対応、セミナー、フォーラムなどを開催し、何か始めたい人が情報収集などをするコミュニティをつくり、悩みを抱える人のフォロー体制を整備することで、参加者のワーク・ライフ・バランス向上を目指した。
70	NPO法人高田瞽女の文化を保存・発信する会	C-1-1 C-3-2	「瞽女ミュージアム高田」運営発信事業	今年5月に高田世界館で「映画GOZE」が上映されるのを機に、4月～6月に越後瞽女まつりを上越市とコラボして実施する。 ・ミュージアム企画展と上越市立歴史博物館の瞽女常設コーナーとの連携 ・ミュゼ雪小町での「ごぜさの歩いた風景展」の開催と瞽女がたり、瞽女シンポジウムの同時開催 ・高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーでのロケ地巡り ・瞽女唄演奏会や門付け再現など各種イベントを開催	○斎藤真一生涯100年記念企画展 小林古径記念美術館の企画展(7/2～9/25)と連携し、相互に入館料を100円引きにする。 7月2日に池田敏章氏と斎藤弘美氏の対談を開催。 7月3日に月岡祐紀子氏の瞽女唄演奏会を開催。 9月24日に市川美喜恵氏と河村一美氏の対談を開催。 10月15日に篠田澄明氏の瞽女がたりを開催。 ○高田瞽女の門付け再現と瞽女唄演奏 2月4日に高田小町～大町5丁目～瞽女ミュージアムを4軒門付けし、高田小町多目的ホールで瞽女唄演奏会を開催。 ○高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー 6月12日に瞽女文化を学ぶ日帰りバスツアーを定員35名で開催。
71	お馬出しプロジェクト	C-1-1 C-2-1 C-3-2	お馬出し塾	会場は第20回より継続して武蔵野酒造の「楽酔亭」で行っている。会の前半は講演会、後半は「清宴」と称し日本酒と郷土料理のおもてなしを行いながらまちづくりを話題に交流を行っている。	①お馬出し塾・1月、3月の2回実施 ②高田まちかど交流館でのコンサート・3月(4団体出演、観客数100名) ③お馬出し一座による「竹取物語」の上演・10月(観客数120名)
72	越後高田・雁木ねっとわーく	C-1-1 C-1-3	風鈴街道IN雁木事業	事業の内容: 雁木の歴史的価値と維持保存の必要性を認識してもらうために毎年夏に雁木の軒先に風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。雁木の歴史的価値を知ってもらうためのパンフレットを作成して首都圏向けに発信していきます。他団体との連携を強化し、城下町高田の歴史、伝統文化、風習等を掘り起こす活動をしている団体と一緒に発信していきます。また、団体相互の共同参加、雁木のある町内、町内会長に呼びかけていきます。 実施方法: 毎年7月の高田の祇園祭からお盆まで雁木のある町内に呼びかけて風鈴を飾ります。また、雁木を題材にして雁木の写真コンテストを実施します。	事業内容1 8月1日からお盆まで雁木の軒先に風鈴を飾って、雁木のあるまちの全域に風鈴のまちの景観をつくりました。 事業内容2 お盆の期間中、雁木のまちに一齐に行灯を掲出して、雁木のまちの行灯の景観をつくりました。 事業内容3 7月下旬から31日までお休み処を開設して高田のまちを訪れる人やまち歩きをする人に風鈴や行灯の景観を楽しんでもらいました。 事業内容4 雁木の日常生活に欠かせないものとしての価値と歴史的文化的資産としての価値を広く知ってもらうため、雁木の写真コンテストの応募作品を活用して雁木を紹介する冊子を2000部発行し、Jネットや旅行業者に配布しました。 事業内容5 雁木の歴史的文化的資産としての価値を認識してもらい、雁木でつながるまちの生き方と歴史景観を広く知ってもらうため「雁木の魅力写真コンテスト」を実施し、74点の応募がありました。

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
73	NPO法人くびきのお宝のこす会	C-1-3 C-2-1 C-3-1 C-3-2 C-4-1	くびき野レールパーク公開事業	<p><くびき野レールパーク></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間5回(6日間)に亘る定期公開・特別公開の実施 マンネリ化に陥らない公開イベント内容の工夫、刷新 マスコミ等を利用した宣伝の拡大、市内小・中学校へのポスター配布 幼児、児童、生徒や一般人を対象とした学習啓発活動の宣伝、推進 地元の鉄道関係機関との話し合いによる公開内容の検討 	<p>1 くびき野レールパーク定期公開 5月5日(木)、6月19日(日)、7月17日(日)、10月15日(土)・16日(日)の4回5日間実施 時間はいずれも9:00~15:00公開 訪問者数合計1999人 ※9月18日(日)は予定していたが、コロナ禍のために中止</p> <p>2 くびき野レールパーク要請公開 各種団体の要請により公開 訪問団体数18団体529人</p> <p>3 国土交通省主催の令和4年度「手作り郷土賞」で国土交通大臣賞受賞</p>
74	南本町三丁目まちづくり協議会	C-1-1 C-1-3 C-2-1	町内景観ガイドラインの活用と制度づくり	<p>専門家と市役所と連携を取りながら、適切なアドバイスをいただき住民参加で取り組んでいく。また、今上越技術高等学校の生徒さんたちと交流しながら行っているので継続して、若い力と発想を吹き込んでもらうよう努力と協力をしていく。町内情報発信として情報誌「なん・ぼん・さん」を作成している。これを継続し町内を見直しながら魅力ある町づくりをしていきたい。</p>	<p>○雁木フォーラムと雁木保全事業 町家のリノベーションを仕事としている方を講師に招きフォーラムを開催しました。また、新潟県立上越総合技術高等学校の生徒さんたちと雁木の保全活動を行いました。青田川を愛する会に協力して雁木に竹灯籠の灯りを飾りました。</p> <p>○町内景観重点区域認定への協力とまちなか居住推進事業の取り組み 町内会と協力して昨年度から取り組んできました景観重点区域の指定が町内の一部が認定されました。また、まちなか居住推進事業にも取り組みはじめました。</p>
75	えちごトキめき鉄道株式会社	C-3-1	トキてつサポーターズクラブ	<p>○サポーター会員 ・会費を払って入会 ・会員特典は、会員証、優待乗車券、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用、雪月花乗車代割引等。 ・ポイントカードの導入。駅窓口での割引券、回数券等の購入やサポーターズクラブのイベント参加でポイント加算。ポイントは景品と交換可能。</p> <p>○サポート団体 ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対してクラブ会費から経費の一部を助成する。</p> <p>○協賛店 ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。</p>	<p>沿線人口の減少による利用者減が想定される中、トキ鉄を存続させ、安定経営を図るためには、地域の皆さまと一体となって利用促進の取り組みを進める事が必要。 地域の皆さまに自分たちの鉄道「マイレール」意識を持っていただき、利用促進及び沿線地域の活性化を図るため、サポーターズクラブ事業の推進を継続した。</p>
76	えちごトキめき鉄道株式会社	C-1-1 C-3-1	直江津D51レールパークを活用したイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 直江津駅自由通路を使用し、年間4回程度継続的に開催。 直江津商店街を中心とした出店者を募り、物販物・飲食用ブースを配置、弊社のトキ鉄グッズ販売ブース配置。 目玉となる企画(うみがたりとの連携など)で集客を目指す。 SNS等での発信でマルシェ定着を図る。 	<p>・令和3年4月にオープンした「直江津D51レールパーク」内で、交流人口拡大、地域の賑わいづくりを目的に地元事業者や他鉄道会社等と連携し、物販イベントやライトアップイベントなどを定期的で開催</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
77	頸城自動車株式会社	C-3-1	乗合バス事業	<p>下記の事業の取組については、上越市次期総合公共交通計画に沿って、市と連携して取り組む予定です。</p> <p>1.計画区域 上越市全域 2.計画期間 令和2年度から令和9年度までの8年間 3.公共交通ネットワークのイメージ</p> <p>・バス路線を基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定する。 ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」等、効率的な運行形態を検討する。</p> <p><各種支援内容></p> <p>国 地域公共交通活性化再生法に基づく支援 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく支援</p> <p>新潟県 新潟県バス運行対策費補助金交付要綱に基づく支援 新潟県生活交通確保対策補助金交付要綱に基づく支援</p> <p>上越市 バス運行対策費補助金として支援</p> <p><他団体との連携意向等></p> <p>・市と連携し、各区総合事務所や沿線町内会、学校関係等との調整を図りながら進めていく予定です。</p>	<p>第2次総合公共交通計画に基づき路線バスの再編について、市と連携し、下記のとおり実施した。</p> <p>・山麓線の飯地区に停留所を新設し、利便性向上を図った。 ・浜線の特に利用の少ない便を減便し、運行の効率化を図った。 ・上越大通り線の一部の便を犀潟駅前へ乗り入れし、通学の利便性・安全性の向上を図った。</p> <p>公共交通の利用促進策の取り組み</p> <p>・総合時刻表の配布やバス乗車体験キャンペーンを実施した。 ・上越市内の全路線にバスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図った。(市の支援により実施) ・学校や保育園へバスを持ち込みバスの乗り方教室を実施した。(小学校6校・支援学校1校約200名、保育園5園150名) ・各種イベントで公共交通ブースを出店し、路線バスのPRIに努めた。(バスロケやフリーWi-Fi、お得な情報など)</p>
78	しゅしゅクラブ	C-3-1 C-4-1	しゅしゅクラブ 発足10周年記念講演会	—	<p>当会発足10周年の記念講演会を行なった。令和4年12月10日 「地域をより良く表現する観光の仕掛けづくり」と題して、にいがた観光カリスマのなぐも友美氏より講演をいただいた。</p>
79	JR東日本鉄道OB会直江津支部	C-1-1 C-2-1 C-3-1	鉄道を通じた街おこし	<p>1. 五智公園にあるD51-75蒸気機関車保存清掃活動を一般市民を交え行う 2. 10月「鉄道の日」駅前商店街協力し開催する 3. 信越線無人駅清掃の実施 4. 新潟県鉄道発祥の地啓蒙活動(講演等) 5. 新潟県鉄道発祥の地石碑建立</p>	<p>2022/6/19 無人駅清掃(上下浜駅・土底浜駅・潟町駅) 総勢34名で行った 2022/8/7 五智交通公園D51-75 清掃保存活動を市民とともに行った 2022/10/15 鉄道講演会(演題:鉄道の町・駅弁の街/港のある街)ホテルハイマートで直江津鉄道振興会と協賛で行った 2022/10/3 「鉄道まつり」を直江津駅自由通路で鉄道祭り実行委員会に参画し行った</p>

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の取組内容
80	新潟青年海外協力隊を育てる会	C-2-1 D-3-1	グローバルとローカルの両視点を持つ人材紹介事業	<p>○青年海外協力隊のJICAボランティア事業に対する地域理解と支援輪の拡大 実施例: 上越地区の首長に新隊員の表敬訪問</p> <p>○青年海外協力隊等のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援 実施例: 青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会</p> <p>○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成 例: 地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例: 上越教育大学付属小学校においてネパール地震における出前講座。 ナマステ募金(賛同企業・店等150店)と共同で行っている。</p> <p>○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例: 隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例: 募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。</p>	○募集説明会 春・秋の募集説明会などコロナ禍で予定が出来なかった。
81	株式会社上越タイムス	A-1-1 C-3-2 D-1-1	新潟県消費喚起需要拡大プロジェクト	—	<p>プレミアム付き商品券販売①「新しい生活様式・小部屋の会」「快適な暮らし応援団」「美食まるごとチケット」</p> <p>プロジェクト採択事業「高田本町・仲町フェスティバル超納涼会」(7月29日～31日)・「新潟の最高がぎっしり・アンバサダー修業の旅」(2月15日～16日)</p> <p>「debut」合同企業説明会(7月16日、観光物産センター)</p>
82	株式会社上越タイムス	C-2-2	(株)事務局代行上越の新設	—	上越タイムス社100%出資の子会社を新設(5月10日)し、地域課題の事務代行を伴走型で請け負う態勢整備をはかった。
83	まちづくり市民大学OB会	C-2-1 D-3-1	まちづくり市民大学事業	<p>事業の内容: 上越市が面している課題をゼミ形式で学習していきます。 実施方法: 年間7回程度の講座を開催して行きます。課題別にグループに分かれて課題の背景や問題点を探り改善点を話し合っていきます。 女性が社会のあらゆる分野において活躍してもらうことが必要ですがこのための人材育成の計画がどこにもない現状から、女性の人材育成に関しても取り組みたいと考えています。</p>	<p>2022年6月開講、2023年3月修了、受講生15名。</p> <p>取り組んだテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年観光を考える ・市民が元気な市民活動と社会教育 ・人口減少と移住、空き家問題
84	公益社団法人上越青年会議所	C-1-2	防災フェスティバル	—	金谷山で体験型防災事業実施
85	公益社団法人上越青年会議所	A-1-1	レベゼン上越コンテスト	—	コンテストを行い受賞者を起用した宣伝を作成

番号	団体名	体系番号	個別事業名	事業の概要(第2期総合戦略策定時の内容)	令和4年度の実施内容
86	公益社団法人 上越青年会議所	A-1-4	大麦フェスティバル	—	耕作放棄地を利用した大麦の作成と大麦を利用したサステナブルブランドの創出・発信
87	NPO法人 日本防 災用品技術研究協 会	A-2-2	防災に関する製品 開発及び啓発啓蒙 活動	<p>○地域組織の町内会・各種学校・フリーマーケット等における避難訓練に参加。</p> <p>○上越市総合避難に参加して、介助運搬車(手押し車)を町内等で利用していただき避難訓練に参加。</p> <p>○上越市防災会に参加して介助運搬車(手押し車)及び各種防災用品の紹介及び訓練等に参加。</p> <p>○公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)防災×ライフ研究会に参加して防災事情収集及び展示してPR活動を行う。</p> <p>○内閣府主催:ぼうさいこくたいに参加して介助運搬車(手押し車)の展示・試乗会を行い、全国各地の防災事情収集を行う。</p>	<p>○各種展示会当に参加</p> <p>内閣府:ぼうさい国体(兵庫県)等に参加</p>
88	上越若者みらい会 議	D-3-1	キューピットバレイス ノーサークル	—	第二、第四土曜日にウィンタースポーツ人口増加と若者の繋がりを作る目的で開催。各回平均20名の参加者で楽しんでいただけた。
89	上越若者みらい会 議	C-3-2 D-3-1	断捨離フリマ	—	6月～12月の隔月最終日曜日に、金谷山公園にてフリーマーケットを開催12月は福祉交流プラザにて開催。毎回30～50出店の出店と1000名ほどの来場者で賑わった。
90	上越若者みらい会 議	D-3-1	南葉山ニジマス釣り &キャンプ	—	8月20日(土)南葉高原キャンプ場にてニジマス釣りとキャンドル作り、キャンプファイヤーが楽しめるキャンプイベントを開催。雨天の為、キャンプファイヤーは中止になったが、親子連れキャンパーさんに楽しんで頂いた。
91	上越若者みらい会 議	D-3-1	ゆる～くスポーツ会 と球技大会	—	火曜日バレーボール、水曜日フットサル、木曜日バスケットボール、金曜日バドミントン、日曜ゆる～くスポーツ会を毎週実施。スポーツサークル登録者330名 3月19日(日)球技大会開催
92	一般社団法人 地 域創生インターナ ショナル	C-3-2	米本陣de春の縁日	—	2023年4月17日 休業中の米本陣駐車場を舞台に、地域の宝を再認識してもらいました。